

医学コースプログラム5 医学合同セミナー

2022.02.19

県の「医学合同セミナー」に参加しました。コロナの感染予防のため Zoom を利用したオンライン開催となりました。

内容は

1. ワークショップ

筑波大学 前野哲博先生

「医学部の授業体験をしよう」

2. 講演

筑波大学 瀬尾恵美子先生

「医学部で学ぶ6年間」

3. 地域枠入試制度についての説明

茨城県医療人材課

本校の参加者は3年次生(11名)、4年次生(9名)の計20名でした。

(全体の参加者は87名程度)

オンライン開催のため参加生徒達の研修風景の写真はありませんが多くの感想文をいただきました。全ての感想文を載せたいと思います。

<感想文>

4年

今回のセミナーでは医師の診断について、医学部進学後について、そして医師として茨城県で働く場合のことについて知ることができました。

まず、ワークショップとして行われた医学部の授業の体験では、症例を見ながらどのような病気なのかを考える中で、症状を一元的に、どのような流れであればその症状をすべて説明することができるかを考えて診断をしていくという診断時の考え方を学ぶことができました。また、違う症状を外していった選択肢を少なくしたり、常に2,3番目の診断を考えて外しがないようにするところに医師の仕事の重みや、正確に診断するときのコツがあると知り、医師の凄さを感じました。知識不足で症状と辻褄が合う病名がわからないこともあり、もっと医学について知りたいと思いました。

つぎに医学部進学後や茨城県で医師になることについて聞きました。これまでは茨城県で医師になることに対して否定的な考えを持つことが多かったのですが、仕事のニーズが多かったり、若手医師にとって働きやすい環境であったりと、茨城県で働くことにも多くのメリットを感じることができ、そういう選択肢も考えるようにしようと思うようになりました。医師になることに対するモチベーションを上げることができ、非常にためになるセミナーでした。

4年

感想は、

「症例から見て話し合い、実際にどんな病気なのかなどを考えるのはとても新鮮だった。筑波大学に進学したいと考えていたので、講義を受けられてよかった。」

3年

いろんな話を聞けて楽しかったです。

特に始めの医学セミナーの内容についてが面白く、医師の皆さんはこういう事を考えながら患者さんの話を聞いているんだと考えさせられたり、患者さんから欲しい情報を引き出したり取捨したり、話を聞くこともとっても大切なことなんだと思いました。また、正常がわからないと異常もわからない、ということは当たり前のことだけど見落としていたな、と気づきました。

ワークショップについては、あまり話を振っても答えてくれる人が少なくて悲しかったです。でも、他校の年上や同年代の人たちと話せたことはいい機会だったと思いました。

後半のお話は、今回とは別の医学コースのプログラムで聞いたことがあってさらに知識が深まったと思います。

3年

医学部で学ぶ六年間、地域枠制度についての講演を通して、今、茨城県では、医者不足や遍在化という課題があるが、それに対して、充実した地域枠制度などの保証があるので、医者不足の今だからこそ、医者になれるチャンスだということや筑波大学は、指定国立大学となっていて、総合大学であり、様々な教科をその専門の先生から教わることができたりするということを学び、医者になるためのこんなにも充実した環境が、あるということに、改めて気づき、驚いた。

ワークショップ（医学部の授業を体験しよう）を通して、まず、病気を診断するということは、どこか部位か、何が原因で起こっているのかを患者さんから聞き出した情報から推測することで、模擬試験とは違い、答えを間違っではいけないので、症状の特徴から、当てはまりそうなものを探し出したり、消去法のように特徴に当てはまらない部位などを消して行って、一つに絞るのではなくて、複数の可能性を考えることが大切だということがわかった。次に、グループディスカッションで、実際に診断をしたときに、どの部位が原因で、その症状が起こっているのかまではなんとなく検討がついても、その部位のどう行った炎症、病気なのかまではわからなかったり、一つの部位の可能性しか導けなかったりと、診断はとても難しいことなんだなと思った。また、医学に対しての興味がある人たちと、診断について意見を出し合って、最も可能性が高いものについて、話し合うという貴重な経験ができて、とても楽しかった。

4年

今回、医師の診断方法を知り、それを少しでも体験させていただいて、患者さんの症状から、これだろう、という病気の憶測を考えても、先生の示した答えを聞くと、自分が見逃していた(拾えなかった)情報がたくさんあることに毎回気付かされ、医師の凄さに改めて気づいた。

今回初めて得た情報もあり、不安に思っていた部分がいくつか解消された上、将来どうやって夢を叶えるのか進む道の幅を広げることができたため、このセミナーに出てよかった。

3年

今回の合同セミナーは興味深いものが多かった。医学部の体験授業は初めての体験が多くとても興味深かった。あったことのない茨城県の医師を志す人と交流し、症例について考えられたのは医師になるための知識を身に着けるだけでなく私の志をより強くすることにつながった。また、ほかの人は高校生であることが多くそこも普段と違う人との交流になったため、とても楽しかった。今回はマイクの調子が悪く自分は話せなかったことが残念だがチャットを利用して交流、話し合いができたのでとてもよかった。また、先生の説明がわかりやすく早く飲み込めたためどの症例でも予想を当てることができたので良かった。次の講演は前回聞いたことがあったけれど改めて医学部にさらに興味が出た状態で聞くとまた違ったものに聞こえとても面白かった。さらに、地域枠の説明はさらに茨城県の医療を支えようという意欲を高めることにつながった。このセミナーに参加し非常にためになり、将来での自分の理想像を決めることにつながったので今回このセミナーを紹介してくださった学校の先生とご講演をしてくださった先生方に感謝したいです。

3年

前野先生のワークショップでは、同年代の人たちと一緒に症例について考えることで医療を身近に感じられました。また、瀬尾先生の講演での、医師という仕事の仕組みや茨城県での医師不足の現実性を知ることができ、医者という仕事の重要性を知ることができました。そして、医療人材課の方の医師になるまでの道のりや試験等の仕組みの解説で、今までよくわからなかった医学部や医師という仕事の仕組みについて知ることができました。今回のセミナーで、医師に少し近づくことができたと思います。

3年

ワークショップでは、医師の方から診断の仕方やその際に気を付けることを詳しく教えていただき、それを踏まえてほかの学校の方々と話し合いをしながら診断をすることができました。高校一年生が主体となって行うセミナーに前期生のうちから参加をさせていただけたことはとても貴重なことだと思います。高校生の中で発表をすることは緊張しましたがとても良い経験となりました。講師の方の「実際の診断では間違っただけで済まされない」という言葉から、改めて医師の仕事の責任の大きさを実感しました。

講演では、夏ごろに受けたものをもう一度聞くことができました。改めて筑波大学の魅力

を感じることができました。

医療人材課による地域枠入試制度についての説明では、三年後の大学受験にむけたお話を詳しく聞くことができました。このお話も前期生のうちから聞けることはとても貴重であると感じました。茨城県は特に医師が少ない都道府県なので、将来医師というかたちで茨城県に貢献出来たらと思いました。そのために今できることひとつひとつをしっかりと行っていこうと思います。

このような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

3年

この度は、医療合同セミナーに参加させていただき、ありがとうございました。

自分は中学3年なので、今回が合同セミナー初参加でしたが他校の同じように医療の道を目指している人たちと交流することができ、とても刺激的でした。

症状から、病気を特定する作業は本当に医者になったような気持ちになりました。

グループ内の人たちは自分より年上でいろいろ知っていて話し合いの中でも、「その病状をそこと繋げるのか!」「そんな名前の病気があるんだ」等の新しい発見をすることができたので、良かったです。また機会があれば、参加したいです

3年

私は、医師がどのようにして患者の病気を特定しているのかの方法についての話がとても興味深いと思いました。例えば、「突然痛みが起こったものならば血管に異常がある場合が多く、緊急事態の可能性が高い。逆にゆっくり異変が起きた場合は、年単位なら変性疾患、月単位なら悪性腫瘍、日単位なら感染症の場合が多い。」という話や、患者がどのようにしたときに余計に症状が悪化するのかという話を聞いて、どのような病気なのかを診断するのはまるで推理ゲームのようだと感じました。しかし、現実とは違って失敗したら人の命に関わるという点で、先生の仰っていたように他の可能性を考えて対処することは本当に大切だなと思います。

茨城県は医師が不足しているということで、これからも頑張りたいと思います。

4年

初めてこのようなセミナーに参加したのですが、前野先生の一方行の話ではなくこちらに考える時間をとっていただいたのが良かったです。自分で考えた後に先生のお話を聞くことでよりお話に興味を持つことができました。グループディスカッションは他校の人と話す機会はあまりないので、お話しできて嬉しかったのですが時間的に打ち解けられるものでもないので4回という回数は多く気まずかったです。あまりお話しながらいない人が多い印象でした。前野先生のお話で、「これは専門知識がないとわからない」というケースが多かったので、やはり一般人には身近ではない、医学部に行かないと勉強することができないことが多くあることに気づき医学部に行きたいという気持ちが強くなりました。

瀬尾先生のお話では、筑波大学の良い所を教えていただき、もともとすごい大学だとい

う認識は持っていたのですが医師国家試験合格率 5 位など驚くような情報がたくさんあって参考になりました。

とても有意義なセミナーでした。参加してよかったです。ありがとうございました。